

# 地域再生計画

## 1 地域再生計画の名称

北陸新幹線飯山駅開業を活かした、まち・ひと・しごと創生～飯山市菜の花公園の地域観光資源創生計画

## 2 地域再生計画の作成主体の名称

長野県飯山市

## 3 地域再生計画の区域

飯山市の全域

## 4 地域再生計画の目標

### 4-1 地域の概要

飯山市は、長野県の北部に位置し位置する人口約21,500人のまちである。本市は、長野県内で最も低い千曲川沖積地に広がる飯山盆地を中心に、西に関田山脈・東に三国山脈が走る南北に長い地形をもっており、南西部には斑尾高原、北西部には鍋倉山、東部には北竜湖などがあり、多くの自然資源に恵まれた地となっています。また、日本有数の豪雪地帯であり、雪に関連したスキー産業、観光業が発展してきました。

飯山市の人口は、昭和30年に40,089人でしたが、その後継続的に人口が減少し、平成27年の国勢調査の速報値では、21,444人となり、平成7年からの20年間で5,979人の減少しました。

### 4-2 地域の課題

#### 【飯山市の人口推移】

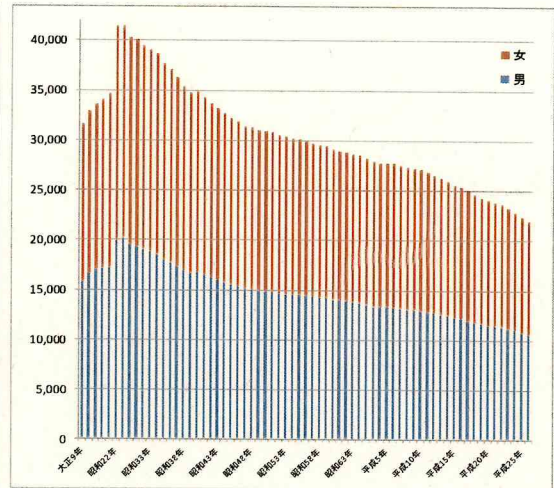
飯山市の人口は、戦後（昭和25年頃）をピークとしてその後継続的に人口が減少し、平成22年（2010年）の国勢調査時には、23,545人にまで減少しました。（飯山市における男女別人口及び世帯数の推移（表1・図1））

年少人口（15歳未満）、生産年齢人口（15歳以上65歳未満）、老年人口（65歳以上）という3年齢区別の人口割合の推移をみると、老年人口の割合が昭和30年時と比較すると3倍以上増加している一方で年少人口については、3分の1程度にまで減少しています。（飯山市における年齢3区分別人口の推移（図2））この結果が示すとおり、飯山市における少子高齢化の進行は顕著であり、平成26年4月現在の高齢化率は33.3パーセントと県内19市の中で2番目に高い状況となっています。

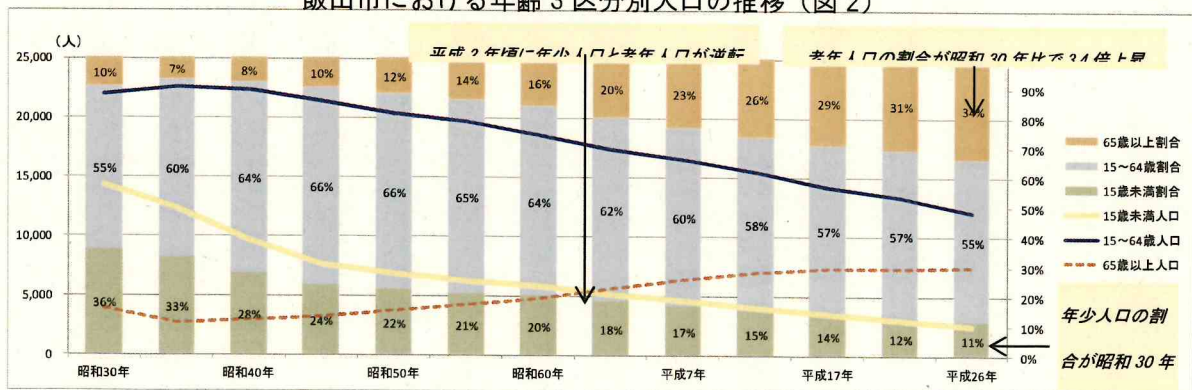
高齢化率の上昇により、医療、介護、福祉などの社会保障関係費が増加し、現役世代の負担はますます増加することが見込まれます。また、地域経済、インフラ、自然環境、集落機能の維持等私たちの暮らしのあらゆる面において人口減少が大きな影響を及ぼすことが危惧されています。

飯山市における男女別人口及び世帯数の推移（表1・図1）（出典：国勢調査）

年	総人口(人)	男	女	世帯数
昭和25年	41,386	20,146	21,240	7,508
昭和30年	39,467	19,451	20,750	7,441
昭和35年	37,592	17,984	19,608	7,668
昭和40年	34,799	16,693	18,106	7,733
昭和45年	32,159	15,476	16,683	7,664
昭和50年	30,796	14,824	15,972	7,661
昭和55年	30,073	14,539	15,534	7,648
昭和60年	29,034	14,063	14,971	7,614
平成2年	28,114	13,509	14,605	7,547
平成7年	27,423	13,149	14,274	7,719
平成12年	26,420	12,680	13,740	7,829
平成17年	24,960	11,947	13,013	7,802
平成22年	23,545	11,324	12,221	7,694



飯山市における年齢3区分別人口の推移（図2）



（出典：「国勢調査」）

飯山市における人口減少率については、表 2 及び図 3 のとおり、昭和 30 年代までは 4 パーセント台にとどまっていたが、高度経済成長期の昭和 40 年代頃から 7 パーセント以上にまで上昇しました。その後平成 7 年頃までは、再び減少率が低下したものの、平成 17 年頃からは再び上昇傾向に転じ、平成 26 年には 8 パーセント近くにまで達しています。

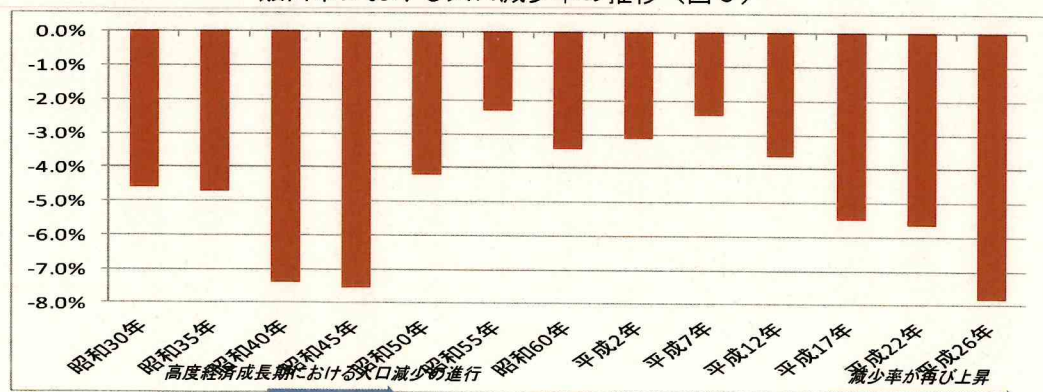
飯山市の人口及び増減率（表 2）

年	昭和 25 年	昭和 30 年	昭和 35 年	昭和 40 年	昭和 45 年	昭和 50 年	昭和 55 年	昭和 60 年	平成 2 年	平成 7 年	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 26 年
人口	41,386	39,467	37,592	34,799	32,159	30,796	30,073	29,034	28,114	27,423	26,420	24,960	23,545	21,880
増減率	-	-4.6%	-4.8%	-7.4%	-7.6%	-4.2%	-2.3%	-3.5%	-3.2%	-2.5%	-3.7%	-5.5%	-5.7%	-7.8%

※ 増減率：{ (n 年人口 ÷ n-5 年人口) - 1 } × 100 (小数点第 2 位四捨五入)

※ 出典：平成 26 年度人口は「長野県毎月人口異動調査（10 月 1 日現在）」、それ以外は「国勢調査」結果

飯山市における人口減少率の推移（図 3）



上記のデータが示すとおり、飯山市における少子高齢化の進行は顕著であり、本市では、この人口減少と高齢化が最大の課題となっています。

#### 4-3 計画の目標

当事業は、北陸新幹線飯山駅開業の効果を活かすため、飯山市の代表的なイベントである「いいやま菜の花まつり」、そしてその会場である菜の花公園を、さらなる地域経済の活性化の場と、雇用の拡大へとつなげていく。

事業の実施内容としては、幸せを呼ぶ黄色グッズクラフトフェアの開催、菜の花公園を活用したアウトドアウェディングの開催、公園内に幸せのベル設置、黄色い郵便ポストの設置等を実施します。

合わせて、菜の花の黄色をキーワードとして地元産業の振興と起業支援を実施します。

また、このクラフトフェアの出展者、参加者等が、飯山市インキュベーションセンターを利用することに対して支援をしていくことで、商品開発・起業からの雇用促進、雇用の創出へとつなげていきます。

本事業により、飯山市へ春夏秋訪れていただくきっかけを作り、また、伝統産業とアウトドアウェディングのマッチング、新しいデザインと地元産業の技術を活かした商品開発や起業をインキュベーションセンターを活用し推進していくことで、新たなひとの流れとしごとの創出によるまち・ひと・しごと地方創生により、飯山市の課題解決に寄与します。

#### 【数値目標】KPI

菜の花公園来場者数

平成26年度40000人 → 平成30年度51000人

土産商品開発等による商品化件数

平成26年度6件 → 平成28～30年度末累計 15件

起業支援による起業件数

平成26年度2件 → 平成28～30年度末累計 3件

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

本事業は、飯山市へ春夏訪れていただくきっかけ、地域観光資源を創生する事業です。伝統産業とアウトドアウェディングのマッチング、新しいデザインと地元産業の技術を活かした商品開発や起業について、インキュベーションセンターを活用し推進していくことで、新たなひとの流れとしごとの創出によるまち・ひと・しごと地方創生により、飯山市の課題解決に寄与します。

## 5-2 法第5章の特別措置を適用して行う事業

### 地方創生推進交付金【A3007】

#### 1 事業主体

飯山市

#### 2 事業の名称及び内容：飯山市菜の花公園地域観光資源創生事業

当事業は、北陸新幹線飯山駅開業の効果を活かすため、飯山市の代表的なイベントである「いいやま菜の花まつり」、そしてその会場である菜の花公園を、さらなる地域経済の活性化の場と、雇用の拡大へとつなげていきます。

事業の実施内容としては、幸せを呼ぶ黄色グッズクラフトフェアの開催、菜の花公園を活用したアウトドアウェディングの開催、公園内に幸せのベル設置、黄色い郵便ポストの設置等を実施します。

合わせて、菜の花の黄色をキーワードとして地元産業の振興と起業支援を実施します。

また、このクラフトフェアの出展者、参加者等が、飯山市インキュベーションセンターを利用することに対して支援をしていくことで、商品開発・起業からの雇用促進、雇用の創出へとつなげていきます。

本事業により、飯山市へ春夏秋訪れていただくきっかけを作り、また、伝統産業とアウトドアウェディングのマッチング、新しいデザインと地元産業の技術を活かした商品開発や起業をインキュベーションセンターを活用し推進していくことで、新たなひとの流れとしごとの創出によるまち・ひと・しごと地方創生により、飯山市の課題解決に寄与します。

- 飯山市と連携協定を締結している文化学園大学との協働により、平成28年度10月から開所する、飯山市インキュベーションセンターを活用し、この伝統的工芸品の「内山紙」、「飯山仏壇」の技術を活用し、菜の花の黄色をキーワードに関連した新商品を開発していきます。

#### 3 事業が先導的であると認められる理由

##### 【官民協働】

行政は、まち・ひと・しごと創生の、まちの部分として、菜の花公園に新しい価値を創造し、交流人口の拡大を図る。この新しい価値を創造した菜の花公園を、地元の自治組織、実行委員会組織で活用していくなかで、民間事業者等と協働した、事業を実施していきます。

行政は、事業の核となる新しい価値を創造した菜の花公園を準備する。  
民間が参加できる「幸せを呼ぶ黄色いグッズクラフトフェア」を主催し、商品開発の機

会をつくります。

いいやま菜の花まつりのクラフトフェアに参加する方を対象に、飯山市のインキュベーションセンターの場を提供し、起業化に向けた支援を行います。

菜の花公園内でのアウトドアウェディングの運営を民間会社で実施する。

菜の花に関連した土産品の商品開発を、地元伝統産業の組合で実施。

菜の花クラフトフェアに参加する者は、起業を目指していく。

また、金融機関には、起業者へ融資を期待しています。なお、融資に係る相談は、飯山市インキュベーションセンターで受けることが可能です。

文化学園大学との、伝統産業（飯山仏壇、内山紙）の土産品協働開発、デザイン、アイディアの提供等を受けます。

### 【地域間連携】

信越自然郷に加入し一緒に活動をしている9市町村があります。この信越地域に住む人々は豪雪や厳しい寒暖差をものともせず、自然に寄り添いながら多彩な文化を創り上げてきました。

信越9市町村（飯山市・中野市・妙高市・山ノ内町・信濃町・飯綱町・木島平村・野沢温泉村・栄村）は、この財産を守るため、9市町村全域を「自然共生圏」と捉え、「信越自然郷」と命名した。

この9市町村が観光について連携をとって事業を行っている。

飯山市内の観光地の魅力を向上することで、信越自然郷内、自治体間での観光スポットが増えることとなる。

飯山市は、この信越自然郷の事務局として、全体の調整を図っています。

### 【政策間連携】

起業商工業担当課と菜の花公園管理課は、現在は、別々に行っている市内外での菜の花公園・イベントのPR活動、プロモーション活動について、協働し実施していくことができる。また、菜の花黄色をキーワードに、交流人口の拡大と、起業と商品開発をセットで推進することにより、相乗効果が期待される。

また、飯山市に興味がある方、飯山へ訪れていただく方へ、集客の方策として菜の花公園・関連イベントを実施、PR、プロモーション活動等を実施し、飯山市の魅力を発信していく。

飯山市で菜の花の黄色をキーワードに、起業・研究実施を検討し、インキュベーションセンターにて事業活動を展開していく。また、短期用の住居を紹介することも可能。引き続き、移住用の住宅も紹介することができる。

本事業を展開していくことで、仏壇、和紙の技術を活かし、地元産業の振興を図る。飯山市に、菜の花公園・イベントに興味を持った方、さらに起業や、住居に関すること全体を、インキュベーションセンターで一括相談することができる。

### 【自立性】

本事業の1, 2年目においては、公園の新たな魅力を創出することにあて、3年目から本格的な事業が開始されていく。

菜の花公園をアウトドアウェディングの会場として貸し出し、黄色グッズの販売等を行い、利用者等から使用料収入、販売手数料を得ていきます。

### 【その他の先導性】

なし

## 4 重要業績評価指標（KPI）及び目標年月

### 【数値目標】KPI

菜の花公園来場者数

平成26年度40000人 → 平成30年度51000人

土産商品開発等による商品化件数

平成26年度6件 → 平成28～30年度末累計 15件

起業支援による起業件数

平成26年度2件 → 平成28～30年度末累計 3件

## 5 評価の方法、時期及び体制

毎年度、3月末時点のKPIの達成状況を総務部企画財政課が取りまとめて、推進委員会を構成する有識者や議会の関与を得ながら検証結果報告をまとめる。また、必要に応じて地方版総合戦略や今後の事業経営方針に反映させる。検証結果はHPで公表する。

## 6 交付対象事業に要する費用及び交付対象経費

### ① 法第5条第4項第1号イに関する事業【A3007】

・総事業費 30,060千円（うち非公共ハード事業6,551千円）

上記事業費総額 30,060千円のうち、1/2の事業費に対して本交付金を充てる。

7 事業実施期間

地域再生計画認定の日から、平成31年3月31日（3ヵ年度）

8 その他必要な事項

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

該当なし

6 計画期間

地域再生計画認定の日から、平成31年3月31日

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況に係る評価の手法

定量目標の達成状況を確認するために、毎年度、外部有識者（産業集積、観光振興、人口分析、都市戦略等の各分野の専門家）を含めた第三者委員会を設置し（市の総合戦略を検証する委員同様）、本事業についてPDCAサイクルによる検証を実施する。

7-2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

評価指数	平成28年度 基準年	平成29年度 中間目標	平成30年度 最終目標
目標1			
来場者数	40000人	45000人	51000人
目標2			
商品化件数	6件	11件	15件
目標3			
起業件数	2件	3件	5件



(指標とする数値の収集方法)

目標1 来場者数

菜の花公園へ来場していただいた方の数値により確認する。

目標2 商品化件数

土産品開発等による商品化件数により確認する。

目標3 起業件数

起業支援による起業件数による確認する。

7-3 目標の達成状況に係る評価の公表方法

中間時点及び計画期間終了後、飯山市ホームページや広報誌に掲載する。